

**NEWS RELEASE****三菱電機と HERE が高精度位置情報サービス利用拡大に向けた提携に合意**

三菱電機株式会社（以下三菱電機）と HERE Technologies（本社：オランダ・アムステルダム、以下 HERE 社）は、高精度位置情報サービスのグローバルでの利用拡大に向け、両社が持つ高精度位置情報ソリューションを相互に活用するために提携することで合意しましたのでお知らせします。

**提携の背景と概要**

予防安全（ADAS）の高度化や自動運転の実現に向けて、高精度地図データと高精度な自車位置把握情報の重要性が増えています。

両社は、HERE 社が整備を行っている高精度地図および運用開始したクラウド位置情報サービス「Open Location Platform」と、三菱電機が開発した高精度で自車位置を把握できる「高精度ロケータ」を活用し、ユーザーが利用しやすいサービス（高精度位置情報サービス）を展開していきます\*。

（※）これらのサービスはまずは欧米から導入し、日本と中国を含まない。

**提携の内容**

今回の合意により、三菱電機と HERE 社は、両社が培ってきた高精度地図およびクラウド位置情報サービスと高精度測位技術を融合し、予防安全や自動運転の分野でユーザーがより利用しやすくメリットがある新たなサービスを共同で検討し、普及を目指します。

1. クラウド上の「Open Location Platform」と高精度で自車位置を把握できる「高精度ロケータ」を組み合わせ、リアルタイムかつ高精度な位置特定による事故発生時や渋滞発生時のスムーズな推奨レーン案内の実現を目指します。
2. 「高精度ロケータ」により取得する車の走行情報を高精度地図のメンテナンスに活用し、ユーザーがより最新の高精度地図を容易に使えることを目指します。

さらに両社は、車載分野以外の様々な領域においてもユーザーが高精度位置情報サービスを利用しやすくなることを目指し、協力を進めていきます。

**提携合意に対するコメント****<三菱電機>**

三菱電機は高度な自動運転の実現に向けて、各種センサーの組合せによる自律型走行技術に加え、衛星と高精度地図を活用したインフラ型走行技術の開発を進めています。インフラ型走行技術は安全な自動走行には不可欠であり、今回の HERE 社との提携は、このインフラ型走行技術のグローバルな展開に弾みをつけるものです。

三菱電機株式会社 専務執行役 自動車機器事業本部長 井口 功

**<HERE 社>**

位置情報技術は、現在様々な業界を通して起こっているデジタル革新の核であり、三菱電機と HERE Technologies の非常に実りの多い協議の開始点となっています。両社は固有の技術を持ちよりパートナーシップを組むことでデジタル革新を実現し、共にお客様に対し多大なる価値を提供できるものと信じています。両社の提携は、まずは自動運転分野で進めますが、これにとどまらず将来は今後拡大していく自動化社会での新たな魅力的なサービスやビジネスモデルについても検討していきます。

HERE CEO, Edzard Overbeek（エザード オーバービーク）

**報道関係者からのお問い合わせ先**

<三菱電機>

三菱電機株式会社 広報部 尾崎 和史

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 TEL 03-3218-2841 FAX 03-3218-2431

E-Mail : [Ozaki.Kazuchika@aj.MitsubishiElectric.co.jp](mailto:Ozaki.Kazuchika@aj.MitsubishiElectric.co.jp)

<HERE 社>

株式会社井之上パブリックリレーションズ HERE 広報担当 マイケル リットウィン

〒160-0004 東京都新宿区四谷四丁目28番4号 TEL 03-5269-2301 FAX 03-5269-2305

E-Mail : [m-litwin@inoue-pr.com](mailto:m-litwin@inoue-pr.com)